








シスプラチン+ゲムシタピン+ポートラーザの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。初日の点滴は下記の他に腎障害軽減のため治療前後に電解質輸液があります(計6時間30分のスケジュールです)。

お薬の名前	1日目	8日目	9~21日目
ポートラーザ (ネシツムマブ) 800mg	 60分	 60分	お休み
吐き気止め	 30分	 30分	お休み
ゲムシタピン (ゲムシタピン) mg	 30分	 30分	お休み
シスプラチン (シスプラチン) mg	 60分	お休み	お休み

※1日目は注射とは別に吐き気止めの内服薬があります。初日のアプレピタント125mgは抗がん剤の始まる1時間前に内服し、2・3日目のアプレピタント80mgは朝食後に内服します。2・3・4日目のデカドロンは朝・昼食後に内服します。

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10~14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

低マグネシウム血症

血液中のマグネシウム量が減少することがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、マグネシウムの量を確認します。

血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

腎機能障害

抗がん剤の影響で腎臓がうまく働かなくなることがあります。腎臓の働きが悪くなると、お薬が体内から抜けにくくなり、副作用が強くなる場合があります。お薬の排泄を促すために、たくさんの点滴をして腎臓に尿をたくさん作らせることが大切です。

⇒2・3日目はOS-1かボカリスエット1Lを含む1.5L以上の水分を必ず取ってください。

〈ご自身でわかる副作用〉

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

にきび様皮疹・皮膚乾燥

多くの方に認められる症状です。早ければ、治療開始数日~1週間後に顔や胸、背中にニキビのような皮疹がみられ、1~2週間頃にもっとも強く出るといわれています。次第によくなりますが、治療開始3~5週間後、皮膚の乾燥が強くなってきます。皮疹にはステロイド軟膏、乾燥には保湿剤を使います。

⇒皮膚症状を軽くするためにも、日頃から保湿を心がけてください。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

口内炎

倦怠感

爪囲炎

治療開始4~8週間後に手足の爪の周りの皮膚に炎症が起こります。ひどくなると、爪の周りの肉が盛り上がり、強い痛みをとまなくなります。

⇒症状の軽いうちから早めにケアしていきましょう。保湿もあわせておこなうことが重要です。

味覚障害

聴覚障害

シスプラチンを繰り返し点滴することにより、高い音が聞き取りづらくなったり、耳鳴りすることがあります。

⇒治療前に比べ、人の話し声が聞き取りにくく感じる時は、主治医に申し出て下さい。

しゃっくり

しゃっくりがでることがあります。

⇒長く続く場合は、しゃっくりを抑えるためにお薬を使うこともあります。

★すぐに連絡をいただきたい副作用



- ★「尿量が少なくなる」、「ほとんど尿が出ない」、「一時的に尿量が多くなる」、「むくみ」、「体がだるい」(急性腎不全)
- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。(間質性肺炎)
- ★「ふるえ」、「悪寒」、「38℃以上の発熱」、「肌のほてり」、「紅潮」(敗血症)

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。